

一般質問



つる伸一郎 議員(公明)

### 基金運用改革について

①基金の運用収入と運用利回りは、②都は安全性の高い新たな運用手法として元利保証の金銭信託による運用を開始するが③区の認識は、④同様の基金運用の可能性は、⑤安全性の確保など公金管理の三原則は堅持しつつ、基金の一括運用などの積極的な基金運用改革を進めるべきでは。

**会計管理者** ①平成26年度の運用収入は5千56万689円、運用利回りは0.06%だ。②⑦①都は今年度から運用を開始したばかりであり、今後の状況を注視していく。③これまでどおり公金を安全かつ効率的に管理・運用することを大前提に、運用先や運用期間の拡充等に積極的に取り組む。

### 生活困窮者自立支援制度について

①生活困窮者自立支援制度の存在や活用について、よきめ細やかな周知を。②大阪府豊中市の地域福祉ネットワーク会議など先進的な取り組みを参考に、生活困窮者の早期発見・早期支援体制の充実を図っては。③就業センターとの連携をより強固にし、就業後も自立を見守る就業支援の体制を強化しては。④生活保護世帯に行っているようなアウトリーチの取り組みを、子どものいる生活困窮世帯にも実施し、学習支援の場を提供するなど支援体制の充実を図っては。

**福祉部長** ①文化センターや子育て関連施設等も含め、制度の周知に努めていく。②生活困窮者自立支援制度運営協議会を中心に、支援体制の強化や早期発見への情報共有など、ネットワーク機能の充実を図っていく。③就労自立支援相談員による支援のほか、就職後も継続した相談が受けられるよう努めていく。④アウトリーチという訪問支援の取り組みを生活困窮者世帯にも行っていく。更に、カウンセリング等により親子の学習環境の整備を進め、その上で、子どもたちが集える場の必要性等を検討していく。

### 子育て支援について

①しながらわねボラネットワーク検討委員会の進捗状況は。②ネウボラネットワークは、お産する女性に寄り添い、生活に必要な様々な世話をするドゥーラの活用も位置づけ、利用費助成を設けては。③他自治体の産前・産後ケア施設を利用した際の利用費助成等、いかに切れ目のない体制を築くかという視点で、多様な産前・産後ケアを図るべきでは。

**子ども未来部長** ①課題を横断的に検討するため、副区長を長とした検討委員会を立ち上げ、現状と課題を分析している。今後、乳幼児家庭にアンケート調査等を実施し、区の実情に合った支援体制の検討を進めていく。②③ネウボラネットワーク検討の一環として、民間サービスの内容調査を行い、産後ドゥーラや産前・産後のケア施設の利用も含め、アンケート調査等の結果を踏まえ検討していく。

**平和事業について** ①2億円ある平和基金を積み増し、平和事業の拡大を。②平和を象徴するカンナの花を、小中学校等の花壇やオリピック・パラリンピックの競技会場周辺等に植え、非核平和を世界に発信できるように、事業の拡大を図っては。③非核平和、ネル展は例年区役所で行われているが、駅構内などに、開催会場を拡大しては。④非核平和都市品川宣言35周年の年である2020年に花火大会を実施する等、品川区平和の祭典を開催しては。

### 区長

①基金の増額の必要性は必ずしも高くないと思うが、平和事業の拡充は積極的に行きたくては。②区内学校への拡大にも努めていく。そのほかは、状況を見きわめた上で調整していきたい。③JR東日本等と協議をしたが、展示スペースの点で困難な状況だ。④大規模な花火大会の開催は、関係機関の指導が厳しくなってきたしており、非常に困難な状況と認識している。

**子ども未来部長** ①今後運営事業者と協議していく。②④国や都の基準を上回る面積を確保し、柔軟な運営ができる整備計画としている。⑤約200mの中庭を設ける。⑥



飯沼 雅子 議員(共産)

### 濱野区長は憲法違反の「戦争法案」に反対を

①戦争法案に反対表明を。②今国会での成立は行うべきではないと思うが、所見を。

**区長** ①②国の専権事項に對して、見解を述べることは差し控えていただくと。

### 父母の運動で区立認可保育園実現

区長は来年4月待機児ゼロへ更なる増設を

①平成28年にできる広町二丁目区立認可保育園について複数の副園長、看護師等の配置を。②1年年齢1クラスの適正人数は。③乳児クラスは10人程度の保育ができる部屋割り職員配置を。④1階に乳児用遊戯室の設置を。⑤子どもの遊べる場所の確保を。⑥保育士の賃金が保障されるよう、区のチェックと支援を。⑦いつまで待機児ゼロを実現する計画なのか。⑧4月に希望する認可保育園に入れないかった子どもの7年年齢別人数は。⑨保護者の就業状況は。⑩区立認可保育園の大幅増設を。⑪区独自の待機児のカウント方式はやめるべきでは。

**子ども未来部長** ①今後運営事業者と協議していく。②④国や都の基準を上回る面積を確保し、柔軟な運営ができる整備計画としている。⑤約200mの中庭を設ける。⑥

### 高すぎる国保料・介護保険料引き下げを

特養ホームの増設を求める

①一般財源を投入し、国保料の引き下げを。②実情の把握ができない滞納者には、差し押さえ等をしないよう求めるが所見を。③受診率を高めるため7特定健診とがん検診が一緒に受診できるやり方を。④全てのがん検診の無料化を。⑤住民税非課税者の介護保険料引き下げのため、保険料の更なる多段階化を。⑥介護給付費準備基金について27、29年度は残り取り崩す計画か。⑦29年度末残高の見込み額は。⑧一般財源を投入し、値上げ前の介護保険料に戻しては。⑨特養ホームの更なる増設を。

**福祉部長** ①23区統一の保険料方式を採用しており、区独自の引き下げは難しいと考える。②個々のケースによ

今後十分な配慮を行ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

2. 私立幼稚園への更なる支援・助成金増額および私立幼稚園母の会連合会への助成について

私立幼稚園の経営の安定化を図ることを目的とした私立幼稚園への直接助成金は、区の財政状況を勘案しながら、実態に沿うよう制度の見直しに努めてまいります。

平成27年度から心身障害児教育事業費補助金を増額し、対象者1人につき補助額30万円といたしました。また平成27年度から私立幼稚園協会への補助金を507万から550万円に増額しました。

このように、区では幼児教育推進のため、助成制度など見直しや増額を行ってきたところではありますが、私立幼稚園母の会連合会への直接の助成は難しい状況です。そのため、現状の幼稚園協会への補助金を母の会連合会の事業費支援にも活用していただくなど、創意工夫していただき、私立幼稚園の振興に役立てていただきたいと思います。

①一般財源を投入し、国保料の引き下げを。②実情の把握ができない滞納者には、差し押さえ等をしないよう求めるが所見を。③受診率を高めるため7特定健診とがん検診が一緒に受診できるやり方を。④全てのがん検診の無料化を。⑤住民税非課税者の介護保険料引き下げのため、保険料の更なる多段階化を。⑥介護給付費準備基金について27、29年度は残り取り崩す計画か。⑦29年度末残高の見込み額は。⑧一般財源を投入し、値上げ前の介護保険料に戻しては。⑨特養ホームの更なる増設を。

**福祉部長** ①23区統一の保険料方式を採用しており、区独自の引き下げは難しいと考える。②個々のケースによ

**「住み続けたい」住民を追い出し、まちを壊す放射2号線道路・武蔵小山駅前再開発は中止を**

①放射2号線道路計画は直ちにストップを。②住宅耐震改修補助の倍化を。③地震ブレイカーの設置助成を。④マンション耐震化を進めるため、補助金等が使いやすい制度となるよう求めるが、所見を。⑤武蔵小山駅前再開発について7商店街が壊れてしまう再開発はやめるべきでは。⑥防災のための再開発というが、安心・安全のまちづくりこそ自治体の仕事では。⑦風害から区民を守るための対策を。

**都市環境部長** ①防災性向上や交通の円滑化の観点から必要なものだ。②増額する考えはない。③自助が基本だが、普及に向けた手法等を検討する。④制度の周知とその活用を促す。⑤7地域の課題解決等のために再開発を進めており、地域の活性化が図られると考える。⑥再開発は本密地域解消の有効な手段の一つであり、引き続き支援する。⑦周辺への影響を最小限に抑えられるよう事業者を指導する。